

令和2年11月定例市議会

行政報告要旨

総社市

本日、11月定例市議会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいます。誠にありがとうございます。今議会におきましても、新型コロナウイルス感染症対策として、議会運営に格別のご配慮を賜り誠にありがとうございます。

(クラスター封じ込め成功)

まずは、市内で新型コロナのクラスターが発生した件についてです。「グループホーム吉備の里」において、入所者、介護職員、介護職員の同居家族から合計13名の方の感染が確認されました。現在は収束し、クラスターの封じ込めに成功しました。大きな混乱もなく収束出来たのは、介護職員は勿論のこと、その同居家族の方々が自主隔離により、外部との接触を遮断してくださったことが最大の要因です。我々は、クラスター発生後直ちに、吉備医師会の協力を得て、同居家族の方々へのPCR検査や宿泊所の提供を、本市の負担で行いました。さらに、感染症専門家会議を開いて対応の方向性を確認し、介護崩壊を起こさないための道しるべとしました。今後厳しい寒さを迎える中、さらなる感染者が発生することが予想

されます。今回の経験を踏まえ、私は、必ず市民を守り抜く、県や保健所だけに任せるのではなく、基礎自治体として出来ることはすべてやるという強い決意のもと、感染症対策に取り組んでまいります。

まずは、市内に189カ所ある介護関係の事業所を、ネットワークで結び組織化いたしました。これにより、将来、感染症や災害が発生した場合においても、速やかに情報を発信し、共有してまいります。

さらに、新型コロナ対策においては、正しい知識を持って、正しく恐れることが最も重要です。市内の介護事業所を対象に、医師によるWEB研修を2回実施し、クラスター防止策を周知・徹底しました。また、感染症専門家会議監修の新型コロナの解説動画を、地域づくり協議会へ配付し、小中学校においては、DVDを活用した授業を行いました。

今回の高齢者施設でのクラスター発生では、その施設を閉鎖した時、陰性であった高齢者の支援の継続や受け入れ先の確保といった問題に直面しました。私は、この問題は、全県的に受け入れる相互支援体制を作るべきだと考え、去る11月24日、岡山県市

長会の会長として、伊原木知事に申し入れをしました。

さらに、新型コロナのワクチンについては、詳細は今後決まっていますが、接種のための体制整備では市町村も重要な役割を担うものと聞いております。早ければ来春にも接種が出来ることを想定して、いつ、誰から、どこで、何日間かけて実施するなど、ワクチン接種の詳細については、吉備医師会と協議し準備に取り組んでまいります。

新型コロナの波が本市にもやってまいりましたが、大きな混乱が起こっていないのは、市民の皆様方からの誹謗中傷や人権侵害が起きなかったからに他なりません。この場をお借りして、市民の皆様のご協力に、心からの敬意と感謝を申し上げます。今後も、市全体で一致団結して乗り越えていきたいと思っておりますので、皆様よろしく願い致します。

(コロナ復活プログラム始動)

皆様方に、あらかじめ申し上げなければならないことがあります。率直に申しまして、来年度の予算編成は大変厳しいものとなります。長引くコロナ禍により、税収の著しい低下が見込まれる中、財政調

整基金の大幅な切り崩しや強力なマイナスシーリングはもちろん行いますが、市民の皆様には我慢をお願いする場面があると思います。この苦境を乗り越えるため、ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

しかしながら、我々は、この大ピンチを必ずやチャンスに変えていかなければならないと強く心に誓い、コロナからの復活プログラムを始動します。このプログラムでは、売上の対前年比など目標数値や達成時期、そのための施策などを示したものを作成してまいります。

①コロナ経済対策

まず、これまでに行った経済対策の状況についてご報告いたします。

10月から販売しております「そうじゃ復活券」ですが、現在、全市民の70%が購入し、商品券経済効果は6億9,085万1,000円に上ります。市内業者の方々からも、売り上げが伸びて有難いという嬉しいお言葉が続々と届いております。3月末まで、さらに効果が上がることを期待しております。

次に、コロナ禍により売上が減少した市内の中小企業者の皆様

にお渡ししてまいりました「そうじゃ未来資金」については、最終的に、1,258事業者に、1億3,020万円を支給させていただきました。これらの施策により、本市の経済活性化の原動力になればと願っております。

さらに、このコロナ禍をきっかけに、新たな業種へ参入する事業者を応援する、「新分野チャレンジ事業者応援補助金」に34事業が採択されました。例えば、自動車部品製造業者が医療機器部品へ、縫製業者が医療用ガウンへ参入するといった、この苦境を乗り越えるための、各企業の未来への果敢なる挑戦が多数出揃っております。本市は、これからも頑張る企業を全力で応援してまいります。

②デジタル化×G I G Aスクール構想

次に、去る11月2日に、デジタル化推進室を立ち上げました。これから大きなテーマとなる、デジタル化施策を強力的に推進し、市民の生活利便性のさらなる向上を目指していきます。コロナ禍で重要性を痛感した、市内で経済が循環する仕組みについても、このデジタル化施策を通して考えていきます。

さらに、デジタル化の象徴とも言える、G I G A スクール構想の準備がいよいよ整ってまいります。3 学期からの本格運用に向けて、総社流のソフトとは何か検討しながら、一人一台端末が整備される年内には、端末を使った授業を実験的にスタートさせたいと考えております。

(ランドデザイン改革始動)

ランドデザイン改革については、現在、岡山総社インターチェンジに程近い、長良地区と西阿曾地区において、地域未来投資促進法を活用した、新たな企業誘致を進めております。両地区を合わせた総面積は、実に20ヘクタール以上で、この企業誘致が成功すれば、現在操業中のG L P や日本郵便をはるかに超えた面積の企業団地が実現することになります。これは、総社の未来図が大きく変わる、一大プロジェクトであります。このプロジェクトの成功は、第2次総社市総合計画後期基本計画で掲げる、人口7万500人を達成するための大きな試金石となることは間違いありません。私は、これの早期実現に尽力してまいります。

（新庁舎建設）

次に新庁舎については、5月に策定済みの基本計画を踏まえて設計中であり、令和7年3月末の完成を目指しています。市民がワンストップで利用出来る便利な新庁舎を計画しており、今後、全貌が明らかになりましたら、速やかに皆様にお示ししてまいります。

（市民へのお知らせ）

ここで、市民の皆様にご知らせがあります。

①雪舟生誕地公園オープン

去る11月21日、赤浜地区に雪舟生誕地公園がオープンいたしました。当日は、開園イベントのほか、雪舟にゆかりのある中国地方6市による雪舟サミットを開催し、約250人もの来場者が、雪舟生誕600年と開園を盛大にお祝いしました。今後は、雪舟顕彰の地として、また観光拠点施設として、大いに活用してまいります。

②S O J Aイルミネーション2020・成人記念式典

長引くコロナ禍で、暗くなりがちな市民の心を、明るくするイベン

トが二つあります。

まずは、S O J A イルミネーション2020です。今年は、総社駅前からの市役所通りに加えて、中央文化筋も光のストリートへと変身します。同時に、昭和地区においても、地元住民が中心となって、復興イルミネーションを開催します。

さらに、年明けには、成人記念式が開催されます。コロナ禍のため、午前午後の2部制という形で、感染防止策を十分にとって実施します。成人年齢が、令和4年度から18歳に引き下げられますが、総社市では引き続き、20歳で式典を開催してまいります。

(8月議会での検討事項について)

ここで、8月議会での検討事項につきまして、その結果をご報告いたします。

岡崎議員から、自治体ポイントの導入や、光ファイバーの整備についてご意見いただきました。これについては、先に述べさせていただいた、デジタル化推進室で施策の検討をしております。

三宅議員からは、図書館利用者カードのデジタル化についてご意見をいただきました。この件につきましては、

10月1日から、事前登録いただいた方は、スマートフォンが利用者カードとして利用できるようになっております。

総社市は、コロナで暗く沈むことは決してありません。逆境の中で、さらに強くなって、明るい未来を実現するため、私は全身全霊をかけて前進してまいります。

議員の皆様をはじめ、市民の皆様におかれましても、より一層のご理解と、ご協力をお願い申し上げ、私からの行政報告とさせていただきます。